



# 町長日誌

## No.221

町長日誌の第221号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

### 3月17日 (木曜日) PM3:00

早いもので3月も半分が過ぎ、高校や中学校の卒業式も終わり、昨日は高校入試の合格発表がありました。希望に向かう時には「不安」がつきものです。でもこの不安な気持ちがワクワク感を増加させます。中学生や高校生にはなかなか理解出来ないかもしれませんが歳を重ねるほど、このワクワク感は宝石の様に輝いて見える「思い出」となるのです。さて、こちらは現実の話ですが、突然の様にロシアがウクライナに戦争を仕掛け、停戦交渉と首都キエフの包囲戦が並行して進められています。近隣のポーランドなどに避難した方は300万人を超え、すでに日本にも身内を頼って入国している方もいるようです。私には真相は判りませんが、私たちが耳にする情報はアメリカ寄りのニュースが殆どです。恐らくロシアにもそれなりの理由があるでしょうが、今や完全にプーチン大統領は悪役となってしまいましたので、彼の肩を持つ人は日本には希であろうと思います。しかし、歴史を振り返ると悪か善か？ という極端な選択を好む人間の心が戦争拡大を生じること繋がっていることを忘れてはならないと思うのです。戦争で亡くなった人、家を破壊された人のことを思うと言葉もありませんが、私が一番心配なのは「ウクライナや避難した国々のコロナ感染症はどうなっているのだろう？」と言うことです。報道では全く触れられていませんが、避難所の様子を見るとマスクなどはあまり着けていないようですからとても気になっています。

### 2月28日 (月曜日)



町内に住むSさん(68歳)からお手紙を頂きました。ありがとうございます。

内容は「ゴミステーションのことです。特に大雪、吹雪の後の除雪ですが、私の家の前のステーションは私一人で除雪しています。近くに住む高齢者のTさん(81歳)は私を気遣い除雪に来てくれています。向かい側のゴミ置き場はYさん(72歳)がしています。ほかに協力してくれる人はいません」と言う内容で、少し私が要約して書きました。Sさんは肺や気管支に持病があり今年には特に体調が悪かったようです。でも、自分の家に横にあるので、無理をして周囲の皆さんの為にこれまで除雪を続けて来られたようです。所管の住民課や自治会の役員さんに聞くと、ステーション周辺の除雪は特に決めていない場合が多く、一番近い人が何となく管理しているケースが多いようでした。Sさんが言うには、除雪を手伝ってくれない事よりも「一部の人が収集日に関係なくゴミを出す」「朝8時前後時間に出すことも守られていない」と手紙に書いてありました。町内会の事は皆で協力し合うのが一番ですが、なかなかそのようにはならず、どうしても一部の人に頼ってしまうことも多いと思います。自治会の総会などでご検討いただければありがたいです。

3月は職場の異動、転勤の季節です。今引っ越し業者の担い手が少なく「引っ越し難民」と言う言葉があるぐらいです。官公庁などはこれを避けるために早めの人事異動を行っています。役場も4月1日付けで異動があります。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。